

事例16 交付金を利用してU字溝を自力施行

五所川原市 前田野目

協定面積 田58ha 協定参加者 60人

- 前田野目集落は梵珠山の南の麓にあたり南北に細長く、りんごと米の複合経営が主となっています。
- 土地改良事業の施行が遅れており、高齢化が進んで担い手が不足しているため、用排水路の管理が問題となっていました。
- 共同活動は、毎年1 kmを目標にU字溝を自力施行しているほか、農道・水路の草刈りや泥上げを行い、また多面的機能増進活動としてコスモスなどの景観作物の作付けに取り組んでいます。
- 今後は、集落の溜池に鯉などの魚を放流し、児童生徒の野外活動の場として提供したいと考えています。
また、担い手育成としてオペレーター技術習得のための研修費用などにも交付金を活用していきます。



U字溝設置作業